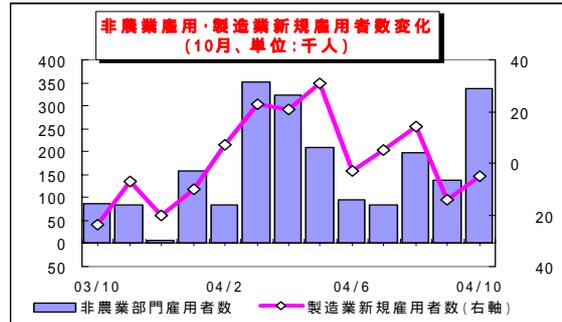
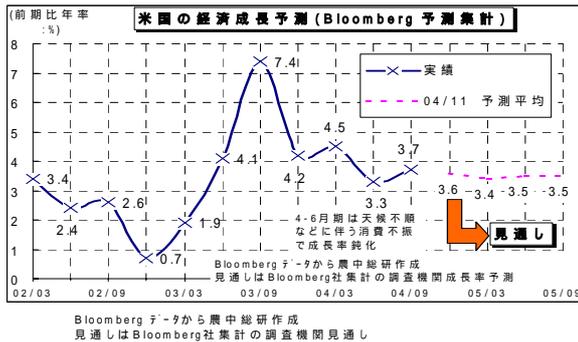


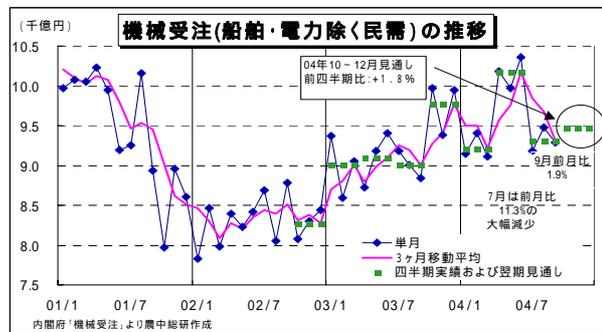
今月の情勢 ~ 経済・金融の動向 ~

最近の経済・金融情勢

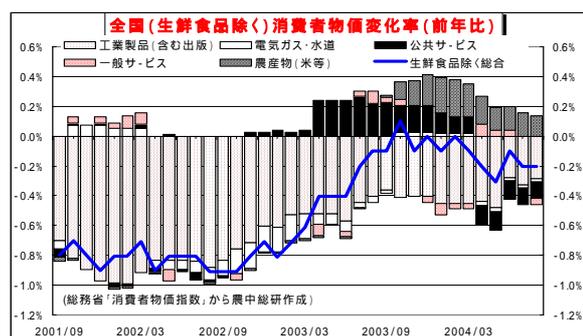
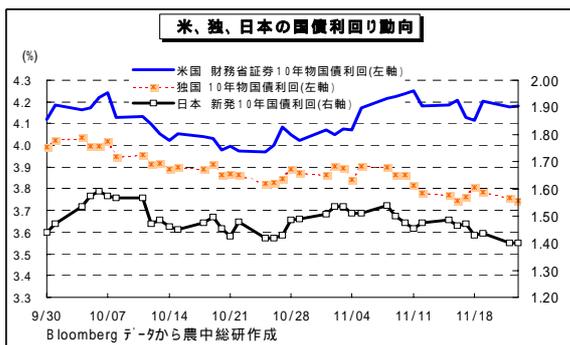
- 米国では、消費や設備投資の伸びから7~9月期のGDP成長率が前期比年率 3.7%と、引き続き景気が拡大している。この動きを反映して10月の非農業雇用者数は33.7万人と大幅増加し、原油価格の反落や株価上昇などから消費者センチメント指標も一部反発している。ただし原油価格の高止まりから先行き成長鈍化の懸念が生じている。米国の政策金利(フェデラルファンド・レート)は11月10日に0.25%引き上げられ2.0%になったが、前述の先行き不透明感から長期金利は低位で推移している。



- わが国では、7~9月期のGDP成長率が前期比 0.1% (1次速報)と、伸び率が鈍化した。電子部品・デバイス等ハイテク関連業種で生産調整の動きが続いていることに加え、輸出が弱含んだことなどから、生産が横ばいとなっている。また設備投資は、先行指標となる機械受注が9月に前月比減少し、7~9月期全体でも前期比 8.4%と減少した。さらに台風・豪雨、地震など自然災害の影響から消費者マインドも低下している。



- 米国の経常赤字是正のため緩やかなドル安放置との見方が広がり、ドル円外為相場は一時102円台まで円高となった。日本の長期金利は、1.4%台まで低下している。企業物価の上昇が続いているものの、消費者物価は小幅上昇をたどっている。日銀・展望レポート(10月)による05年度の消費者物価予想は中央値で前年度比0.1%上昇だが、市場参加者は日銀による量的緩和政策が当面継続されるとの見方が大勢を占めている。



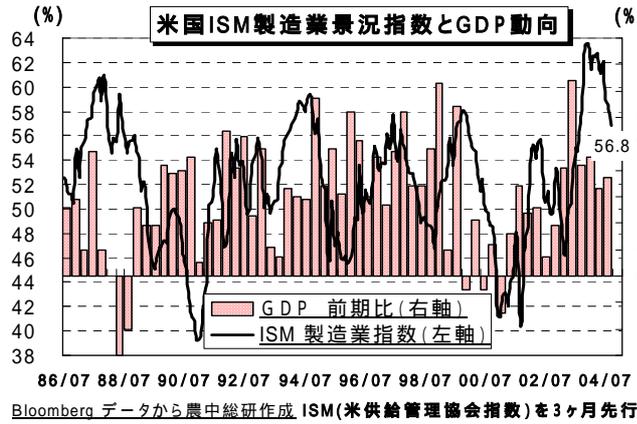
最近の主な出来事

月日	政治・財政	経済・金融	海外・その他
10月23日(土)		新潟県中越地震発生	
10月28日(木)		石油元売各社、石油製品の卸売り価格を11月から1リットルあたり2円前後値上げすると発表	中国人民銀行(中央銀行)、政策金利の9年ぶりの引き上げを決定
10月29日(金)	日銀、経済・物価情勢の展望で基本的見解を示すとともに、金融政策の現状維持を決定		
10月31日(日)	政府、イラクで武装組織に拉致・拘束された日本人男性が殺害されたことを確認したと発表		
11月1日(月)	日銀、20年ぶりに図柄を刷新した1万円札、5000円札、1000円札の3種類の日銀券を発行		
11月2日(火)		来季からパ・リーグに参入する新球団に、インターネット商取引大手の「楽天」が決定	
11月3日(水)			米大統領選、民主党のケリー氏が敗れ、共和党現職のブッシュ大統領の再選が決定
11月4日(木)			欧州中央銀行(ECB)、ユーロ圏12か国の政策金利を年2.0%のまま据え置くことを決定
11月7日(日)			イラク暫定政府、国内の治安悪化を受け、60日間の「非常事態宣言」を発令
11月8日(月)			駐留米軍とイラク治安部隊、武装勢力掃討のためファルージャ総攻撃を開始
11月10日(水)	国籍不明の潜水艦(のちに中国と判明)が日本の領海内を潜航	関西、北陸、中国の電力3社、来年4月からの電気料金引き下げを発表	米FRB(連邦準備制度理事会)、政策金利を0.25%引き上げ、年2.0%とすることを決定
11月11日(木)			PLO議長のアラファト氏が死去、後継議長にアッバース前首相が選出
11月14日(日)	第3回日朝実務者協議が終了		天皇家の長女、紀宮さまの婚約が14日までに内定
11月15日(月)			米パウエル国務長官とアーミテージ副長官が辞表提出、後任の長官はライス大統領補佐官
11月16日(火)	金融庁と東京証券取引所、情報開示規制の強化策を発表	東京証券取引所、西武鉄道の株式を上場廃止に決定	
11月18日(木)	政府・与党、三位一体改革の基本的枠組みを取りまとめ		

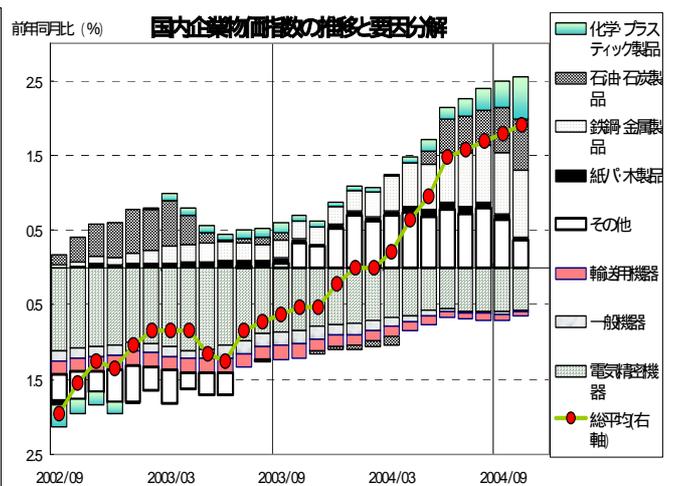
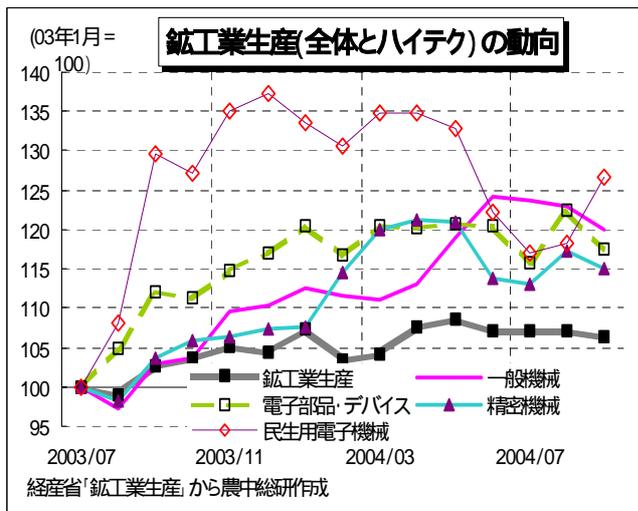
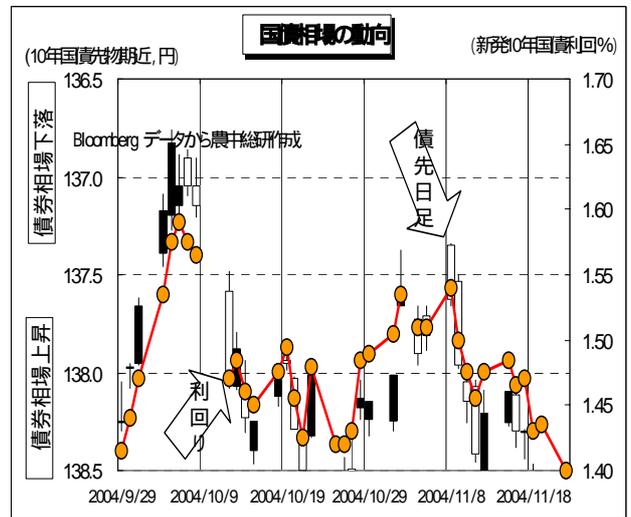
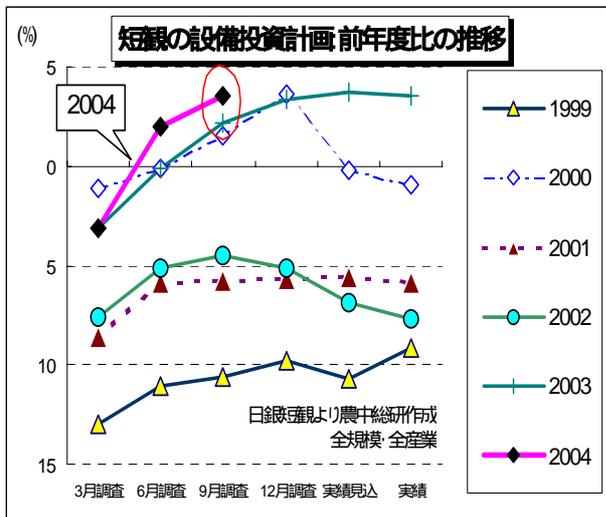
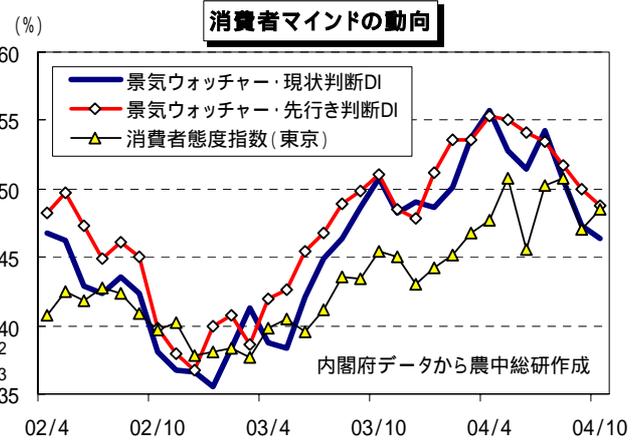
政府と日銀の景況判断

年月	政府月例報告		日銀金融経済月報	
2003年	11月	景気は持ち直している	↗	緩やかに回復しつつある
	12月	景気は持ち直している	↗	緩やかに回復している
2004年	1月	設備投資と輸出に支えられ、着実に回復している	→	緩やかに回復している
	2月	設備投資と輸出に支えられ、着実に回復している。	→	緩やかに回復している
	3月	設備投資と輸出に支えられ、着実な回復を続けている。	→	緩やかに回復している
	4月	企業部門の改善に広がりが見られ、着実な回復を続けている	↗	緩やかな回復を続けており、国内需要も底堅さを増している
	5月	企業部門の改善に広がりが見られ、着実な回復を続けている	→	緩やかな回復を続けており、国内需要も底固さを増している
	6月	企業部門の改善に広がりが見られ、着実な回復を続けている	↗	回復を続けている
	7月	企業部門の改善が家計部門に広がり見せ、堅調に回復を続けている	→	回復を続けている
	8月	企業部門の改善が家計部門に広がり、堅調に回復している	→	回復を続けている
	9月	堅調に回復している	→	回復を続けている。なお原油価格の動向と、その内外経済への影響について留意
	10月	堅調に回復している	→	回復を続けている
	11月	このところ一部に弱い動きはみられるが、回復が続いている	↘	輸出、生産の増勢に一服感がみられるものの、全体として回復を続けている

内外の経済金融データ



(注) 90年代後半の米国GDPの平均成長率は3.7%



今後の内外中期スケジュール

時期	区分	国内		海外
		政治	経済・金融	
04年度 (H16)	10月～05 年3月	1月 通常国会	<p>10月 厚生年金保険料引き上げ (13.58% + 0.354%)</p> <p>10月 東京電力が電気料金を5.2% 引き下げ(次年度も引き下げる方 針)</p> <p>11月 千円、五千円、一万円の各 紙幣改刷</p> <p>12月 小売店での国産牛肉の生産 履歴管理・公開が義務化</p> <p>12月 銀行の証券仲介業解禁</p> <p>12月～1月 NTTグループが固定電 話の料金を順次値下げ</p> <p>1月 中部、北陸、九州電力が料金 引き下げ</p> <p>1月 自動車リサイクル法施行</p> <p>04年度末:「金融再生プログラム」 の不良債権比率半減の達成期限</p>	<p>10月 G7財務相・中央銀行総 裁会議、IMF・世銀総会</p> <p>11月 米国大統領選・連邦議 会選挙</p> <p>11月 ASEAN首脳会議(ピエ ンチャン)</p> <p>11月 チリでAPEC首脳会議</p> <p>1月 イラク暫定議会選挙</p>
05年度 (H17)	4月～9月	年内 介護保険を見直し	<p>4月:ペイオフ解禁(除く決済性預 貯金)</p> <p>3～9月:愛知万博</p> <p>4月:関西、中国、北陸、北海道電 力が料金引き下げ</p> <p>4月:雇用保険料の引き上げ (1.4%から1.6%)</p> <p>4月:国民年金保険料の引き上げ (月額280円)</p> <p>4月:住民税分の配偶者特別控除 の廃止</p>	英国でG8サミット
	10月～06 年3月		<p>10月末 TOPIX浮動株比率の段 階的な調整開始</p> <p>固定資産の減損会計完全実施(06 年3月期から)</p> <p>1月～定率減税(3.3兆円)の段階的 な縮小・廃止を実施</p> <p>デフレ脱却時期目標:05年度以降</p>	<p>秋頃 PS等次世代ゲーム機 相次いで投入との観測</p> <p>EU上場企業によるIASBの国 際財務報告基準(IFRS)採用</p> <p>12月 イラク正式政権の樹立 (多国籍軍の駐留期限)</p>
06 年度 (H18)		9月自民党総裁任期切れ	<p>12月末 新BIS規制適用開始 (先進的手法については7年末か ら)</p>	<p>ロシアでG8サミット</p> <p>06年中 Windows XP後継バー ジョンを市場投入</p> <p>2月 イタリア・トリノ冬季五輪 ドイツでFIFAワールドカップ</p>

(農中総研作成)